

出雲市の台所事情



◀出雲市出身漫画家アサダニッキさん作「出雲ぐらし」に登場する神門ファミリーです。東京から出雲市に1ターンしてきました。「出雲市の台所事情」はどうなっていくのかな？

市では、これからも持続して安定的な財政運営ができるように「出雲市財政計画（2019～2028年度）」を作成しました。

この計画を一つの指針として、毎年の予算を編成していきます。ここでは、計画の基本方針4項目についてご紹介します。

出雲市の台所事情について一緒にみていこう。

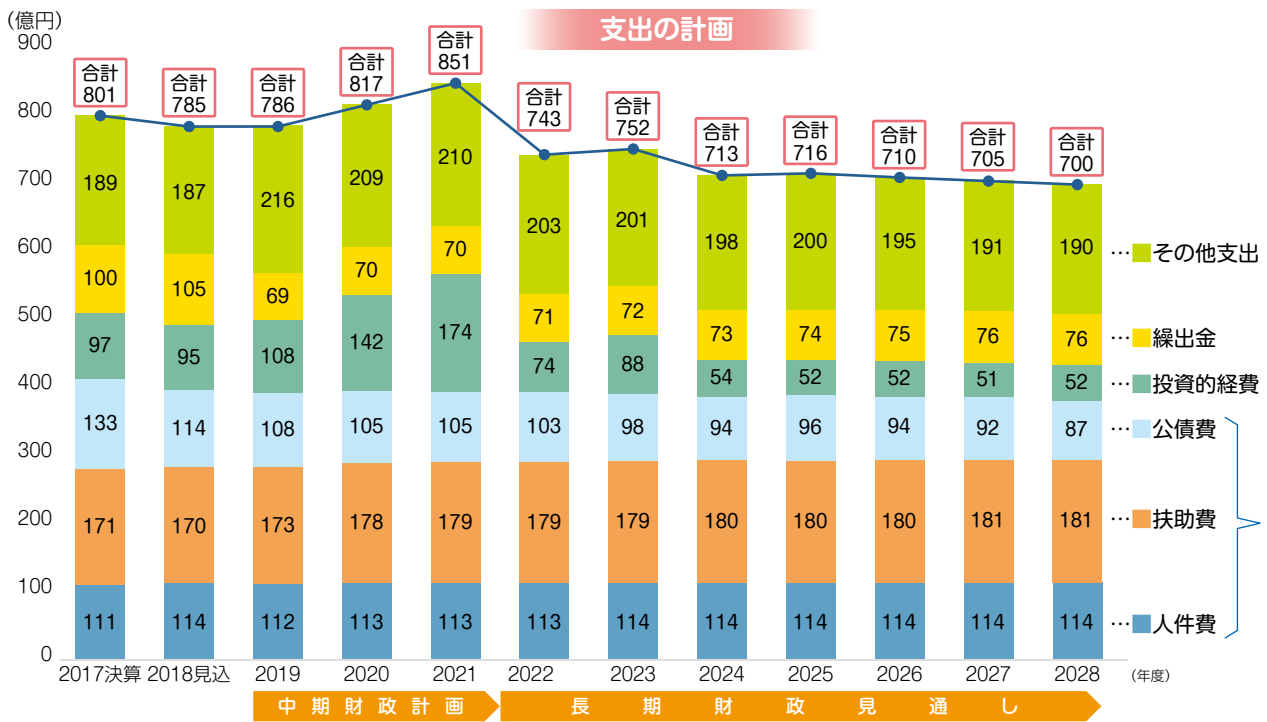
「お金の使い道ってどうなるの？」 ～支出と収入のバランスが大事編～支出



「予算」って何にいくら使うのか計画することなのよ。家計と一緒に収入より支出が多いと赤字になるわね。

方針① 歳出規模の抑制

財政力（収入）に見合った歳出（支出）規模として、期間後半は700億円程度の規模となるように計画しました。



義務的経費

- 【人件費】 職員の給与や手当、議員に支払われる報酬などの経費
- 【扶助費】 子どもや高齢者、生活困窮者などを支援する経費
- 【公債費】 借金を返済するための経費（元金と利子）
- 【投資的経費】 道路や学校、公共施設の整備などの経費
- 【繰出金】 国民健康保険事業などの特別会計に支出される経費
- 【その他支出】 維持補修費など上記以外の経費

キーワード

「義務的経費」ってなに？

人件費・扶助費・公債費の3つの経費のこと。支払う「義務」があるから、家計が苦しくても払うのをやめられない経費。



「義務的経費」のうち扶助費は増えていくのね。

障がい者支援や子育て支援などの社会保障の充実によって増えているよ。



投資的経費は、2021年度にかけて増えているなあ。

新しいごみ処理施設を建設中で、2021年度に完成する予定なんだよ。

2017年度決算と2028年度を比べると総額が101億円も減るんだね。

どうして支出をこんなに減らさないといけないのかなあ。



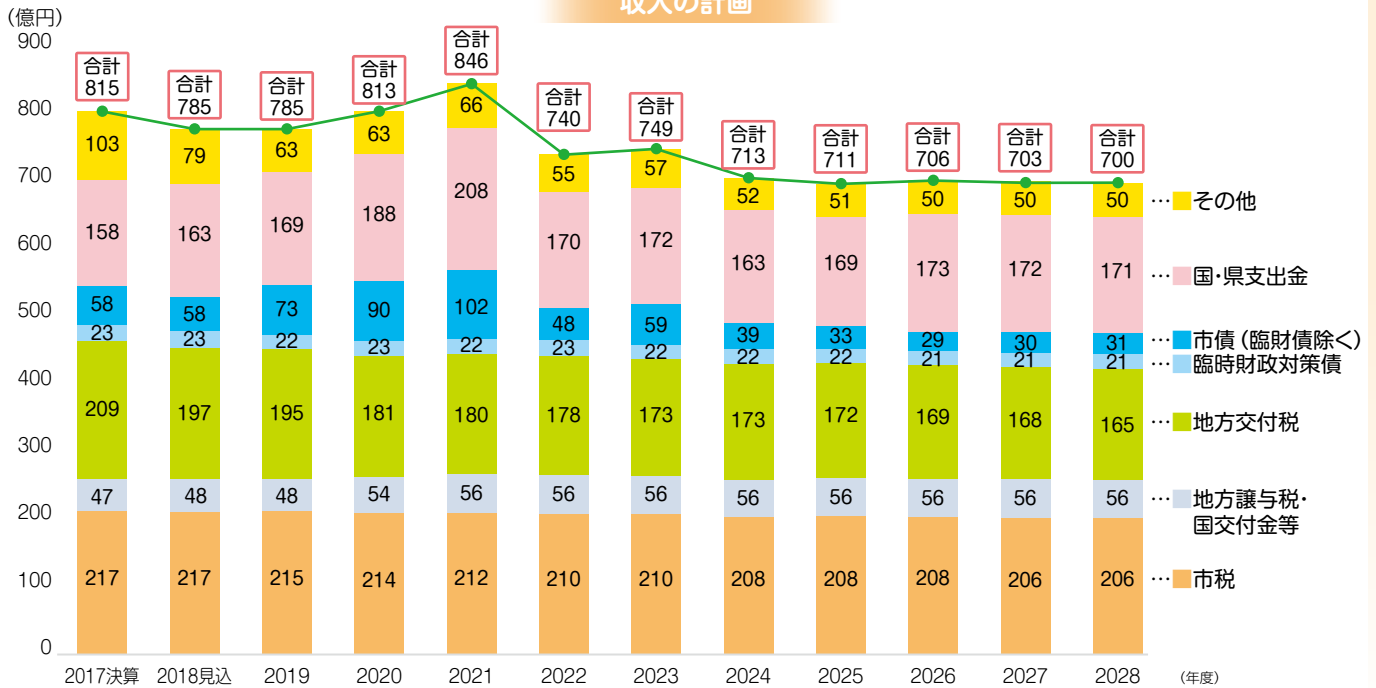
次のページでは収入の計画をみていくよ。支出が少なくなっていく理由がわかるよ。

「お金が足りないって本当？」 ～支出と収入のバランスが大事編～収入



国からもらえるお金などが減っていくから、やりくりが大変！

収入の計画



- 【市 税】 市民税、固定資産税、都市計画税など
- 【地方交付税】 全ての自治体で一定の行政サービスを提供できるように、自治体間の財源の格差を調整するため一度国が集めた税金を自治体に再配分しているもの
- 【臨時財政対策債】 国の予算の都合により本来地方交付税として配分されるべき額の不足分を自治体が直接借金をして調達するもの
- 【国県支出金】 国や県から使い道を指定して配分されるお金

市の収入ベスト3(2017決算)

第1位 地方交付税(29%)
※臨時財政対策債を含む。

第2位 市税(27%)

第3位 国県支出金(19%)

(収入全体に占める割合)

収入は、地方交付税が一番多いんだ。



市の収入の約3分の1を占めているね。



でも、これから10年間で30億円ももらえるお金が減るんだなあ。

地方交付税は、合併をしてから上乗せしてもらっているけど、2022年度から上乗せ分がなくなるんだ。



収入は減っていくけど、扶助費などの「義務的経費」への支出はやめられないから、ほかのことに使えるお金が減るんだよ。

収入が限られていくなかでやりくりしていくのね。



それでも、10年間で合計約30億円の赤字になる見込みなんだよ。

●収支の状況

(百万円)

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	合計
収入	78,458	81,283	84,564	74,005	74,901	71,320	71,094	70,556	70,287	69,963	746,431
支出	78,624	81,686	85,111	74,255	75,199	71,347	71,593	71,029	70,508	70,009	749,361
収入-支出	△166	△403	△547	△250	△298	△27	△499	△473	△221	△46	△2,930

次のページでは貯金と借金の状況を見ていくよ。どちらもだんだん減っていくんだよ。

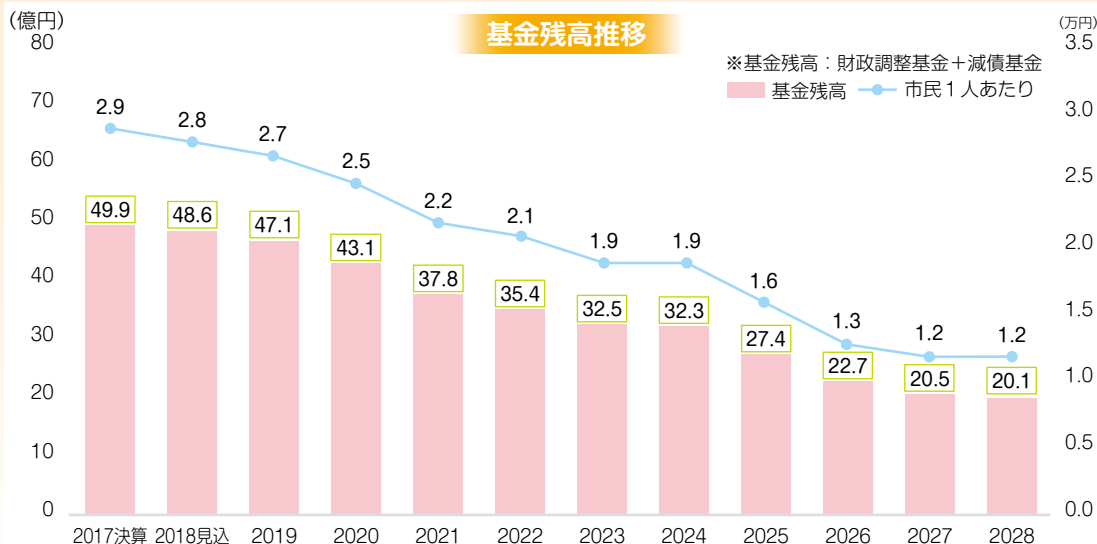
「どれだけあるの？出雲市の貯金」 ～毎年減っていく！貯金編～



毎年の赤字を貯金でまかなっていきから、貯金が減っていくよ。

方針② 基金残高の確保

基金（貯金）で収支の不足をうめながら、将来的に基金（貯金）がなくなることがないように、最低でも基金残高 20 億円以上を確保するように計画しました。



キーワード

「**財政調整基金**」
災害の発生による緊急的な支出の増加や不況による税収減など財源不足を補うための貯金

「**減債基金**」
毎年の借金返済額が財政運営を圧迫しないように計画的に借金を返済するための貯金

「どれだけあるの？出雲市の借金」 ～やっと減ってきた！借金編～

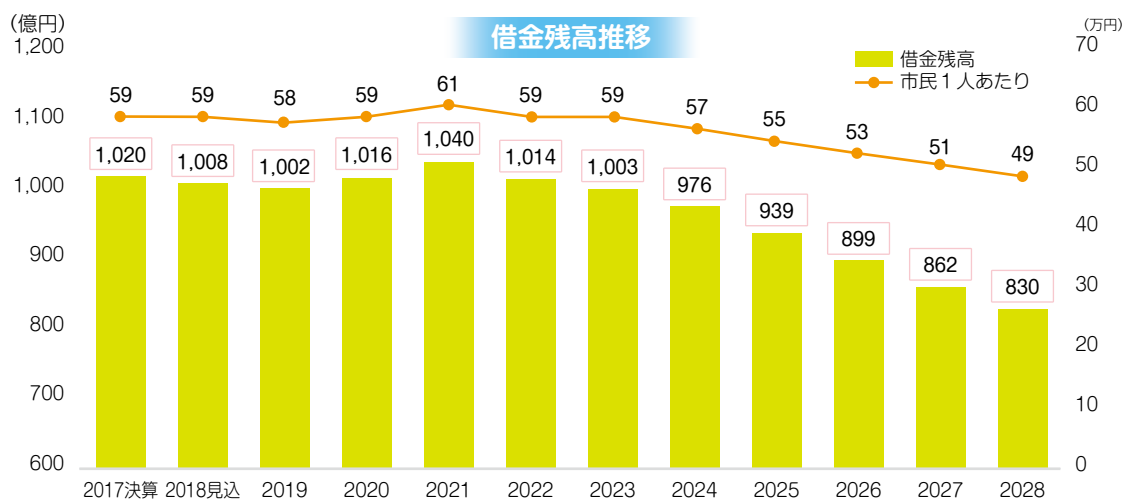


合併後、ピーク時には1,485億円（2008年度）あった借金が今は約1,000億円に減ったよ。

方針③ 市債残高の縮減

本市の市債（借金）残高は類似自治体の約2倍あります。

新たな借金の抑制などを行い、計画の最終年度には800億円程度まで減らすように計画しました。



どうして借金をするの？

道路や学校などの公共施設を建設するときには、一時的に多くのお金が必要となるんだ。これをその年の収入だけでまかなってしまうと他の行政サービスが十分にできなくなってしまうんだよ。
また、道路や学校などは、今後何十年も使うものなので、借金をして分割払いをすることで、今住んでいる市民だけでなく、将来施設を利用する市民も含めて負担を平等にしているんだよ。



次のページでは指標をみていくよ。全国的にみて出雲市の財政がどんな状況なのかがわかるよ。

「出雲市の財政って大丈夫？」 ～改善してきたけど、安心できない！編～



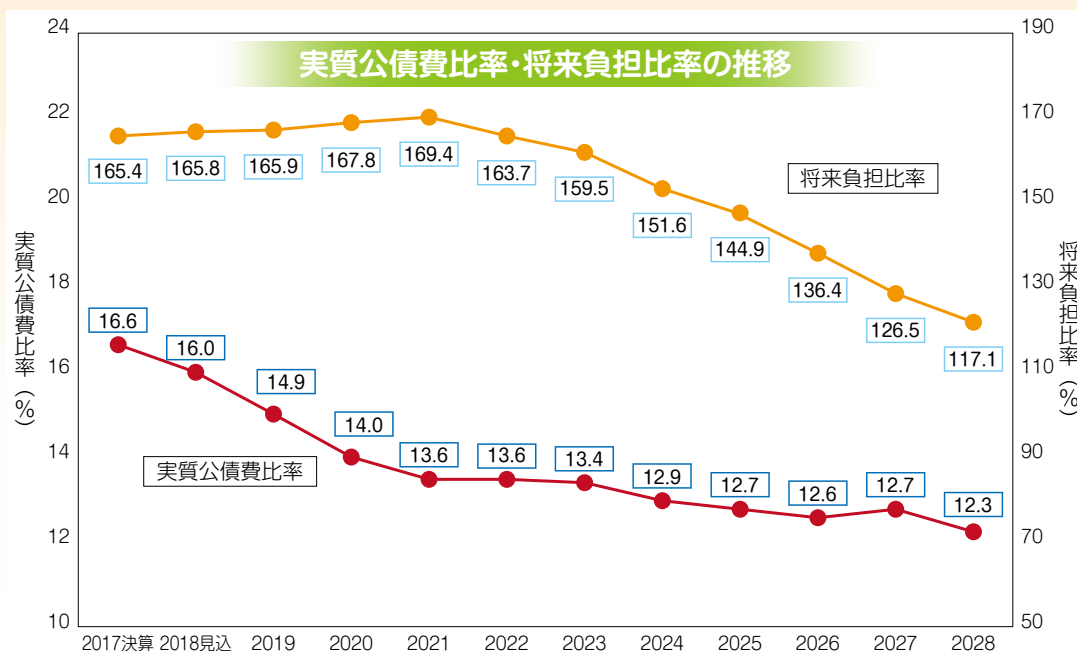
健全化指標（自治体の財政運営の危険度を示す全国共通の「ものさし」のこと）をみてみよう。

方針④ 健全化指標の改善

計画の最終年度の2028年度には、財政の健全化を示す数値である実質公債費比率を13%未満、将来負担比率を120%未満になるように計画しました。

●山陰12市の状況は？（2017年度決算公表値）

区分	鳥取市	米子市	倉吉市	境港市	松江市	浜田市	出雲市	益田市	大田市	安来市	江津市	雲南市	12市平均	全国平均
実質公債費比率	11.2	11.9	13.2	13.4	14.6	10.1	16.6	14.8	13.6	15.9	13.4	11.0	13.3	6.4
将来負担比率	68.7	117.2	113.8	137.2	108.8	72.3	165.4	132.8	94.0	130.7	119.6	91.3	112.7	33.7



キーワード

～家計に例えると～

「実質公債費比率」
家庭の1年間の収入に対する年間の借金返済額がどのくらいの割合かを示す比率

「将来負担比率」
家庭の1年間の収入に対して将来支払っていくローンやカードの返済残額がどのくらいあるのかを示す比率

※どちらも数値が高ければ高いほど危険な状況にあるといえます。

前回の計画と比べると順調に改善していきますが、全国平均はもちろん、山陰12市の平均と比べてもまだまだ厳しい状況です。

～結び～

平成の大合併によって誕生した本市も2019年度には15周年を迎えます。行財政改革の集中的な取組などの結果、健全化の指標は改善傾向にありますが、他団体と比べると厳しい状況が続きます。

このため、次世代に高負担をかけない持続可能な財政運営を実現するために、雇用創出・定住促進・人材育成など将来につながる施策を行いながら、引き続き行財政改革を推進していきます。



今後さまざまな状況の変化が予想されますので、定期的に計画を見直していきます。



出雲市
IZUMO

財政部財政課

電話：(0853) 21-6608 FAX：(0853) 21-6518

電子メール：zaisei@city.izumo.shimane.jp

※カット絵は、出雲市出身の漫画家アサダニッキさんによるものです。「いずもな暮らし」ウェブサイトでも漫画配信

※出雲市財政計画は、出雲市ホームページで公開しています。 <http://www.city.izumo.shimane.jp>



平成31年3月